

## Q スタートカリキュラムとはなんですか？

**A** 幼児期の教育と、小学校教育を円滑に接続するために、小学校の入学当初に編成されるカリキュラムのことです。幼児期の教育で育まれた資質・能力を生かし、小学校以降の学びをより確かなものにしていくことができます。

また、5歳児から小学校1年生までの2年間の「架け橋期」は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために非常に重要な時期とされています。この「架け橋期」のカリキュラムの実効性を高めるためにも、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続において重要な役割を担うスタートカリキュラムの充実を図ることが求められています。

国語 算数 生活 音楽 図工 体育 道徳 特活

生活科の活動をきっかけに、各教科等の学習へ円滑に接続することができます。



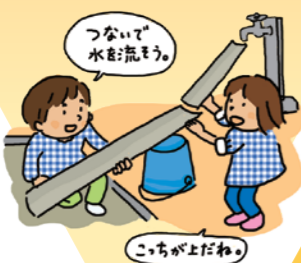
### スタートカリキュラム

生活科を中心に合科的・関連的な指導を行い、児童の思いや願いを生かした学習を構成しましょう。



小学校

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手がかりに、幼児期の育ちや学びを小学校につなぎましょう。



幼児期

「10の姿」とは？  
幼児期の教育を通して育まれてきた資質・能力を具体的な姿として示したものです。詳しくはこちら▶▶▶

スタートカリキュラムや「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」のことをもっと知りたい方は、弊社発行情報誌「教室の窓 低学年版」や、弊社Webページも併せてご覧ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/kikanshi/>



東書の機関誌



内容解説資料

東京書籍の

# スタートカリキュラム



教科をつなぎ  
架け橋期の学びを  
支える



この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



## いきいきと学びに向かう スタートカリキュラム

おはよう  
ございます。

校庭が  
広いね。



音に合わせて  
みよう。



上の階には  
何があるかな。

合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の工夫で、「いきいきと学びに向かう」スタートカリキュラムを目指しましょう。



田村 学先生

# 生活

## 各教科をつなぎ、いきいきと学びに向かう児童を育みます

▼国語 | 年上 p.8-9



▼道徳 | 年上 p.10-11



国語

道徳

そうだね。わたしのことも話したいな。

みんなの名前が知りたいな。

よろしくね。

# 生活

### 幼児期の育ち



「新編 あたらしい せいかつ」では、すべての学校で適切にスタートカリキュラムが編成できるよう、児童の意識の流れを大切に学習活動を生活科の内容で構成しました。また、合科的・関連的な指導例を掲載し、円滑に各教科等の学習に接続できるよう、配慮しました。

よろしくね。いっしょにあそぼう。

この歌知っているよ。

わたしもこの歌好きだよ。

音楽



▲生活上 p.12-13

# 生活 「つなごうひろがる」

学校探検を中心とした生活科の主体的な活動の中にある、各教科等への「学びの芽」の例をまとめました。

児童が各教科の学習のイメージをもつことで、円滑に接続できるようにしています。

また、先生方にとっても、各学校のスタートカリキュラムを作成する際、参考にすることができます。

書写

▼書写 | 年上 p.4-5



よくいんしつ

何て書いてあるのかな。

うまく書けるようになりたいな。

自分で考え、行動する学びのプロセスをくり返す

▲算数 | 年上 p.4-5

算数



どの色のチューリップが多かったかな。

比べてみるといいね。

図工

見つけたチョウの絵を描いたよ。

上手だね。どこにいたの？



架け橋期の学びを支える豊富な教材

## 学校探検

生活



▲生活上 p.21

書写



▲書写 | 年上 表紙裏

道徳



▲道徳 | 年上 p.18-19

国語



▲国語 | 年上 p.32-33

自ら学びに向かう児童へ

入学当初のスタートカリキュラムだけでなく、架け橋期においては各教科等と関連を図ることができる学習材の選定にも配慮しました。生活科の学習の本質である、「具体的な活動や体験を通す」ことから各教科の学びにつなげることで、児童の主体的な学びを促します。

道徳



▲道徳 | 年上 p.38-39

生活



▲生活上 p.108

道徳



▲道徳 | 年上 p.104

算数



▲算数 | 年上 p.91

生活



▲生活上 p.36

栽培

国語



▲国語 | 年下 p.140

自分の成長



# 算数

## 幼児期に育った数や量への関心、感覚を引き出します

算数科の学習で育む資質・能力は、幼児期の遊びや生活の中で育ちます。これらを引き出し、発揮させることが、算数科でより効果的に資質・能力を育むことにつながります。

### 学びがつながる

1年①は、令和6年度からA4判です。幼児期に数や量に着目した経験を想起させながら、幼児期の学びと算数科の学びを円滑につなぎます。

拾ったどんぐりの数をくらべる。

### くらべたことがあるかな



積み木の高さをくらべる。

ハンカチの大きさをくらべる。

### 数への関心を高める

直感的に数の多少を判断することで、数への関心や感覚を引き出します。

### おいしいのはどちらかな



ジュースの量をくらべる。

さつまいもの長さをくらべる。

1年生では、この後も幼児期に育った資質・能力をさらに成長させていきます。

# 道徳

## 幼児期に育んだ自分らしさをのびのびと発揮する

1年生の第1～6教材までを、入門期「どうとくスタート」に位置付けました。初めて経験する道徳科の授業を、すべての児童が楽しめるよう、具体的な学習活動を取り入れた教材や、絵や写真を中心とした教材で構成されています。



### 個性の伸長

最初の授業は、「個性の伸長」から始まります。自分の好きなことを話し、聞き合う学習活動を通して、安心して自己を発揮できる学級をつくりまします。



### 1 わたしの好きなこと

はじめに みんなにきいてほしいな。

### 絵本の紹介

授業時間の弾力的な運用も見据え、読み聞かせに活用できる絵本を紹介しています。

### 円座での対話

先生や友達の顔が見え、安心して取り組める、円座での対話活動を例示しています。